

# 沿岸定線観測速報 ちば (2021年6月)

千葉丸：6月1～7日

千葉県水産総合研究センター  
千葉県農林水産技術会議  
令和3年6月30日

黒潮は、野島埼沖でやや接岸し、北東に流れていました(図2)。  
水温は、水深0～200mまでおおむね平年並でした(表1)。

(詳細)

水深10mの水温は14～24℃で、距岸30マイル以内では岸から沖に向かって水温が急激に高くなっていました。また、低塩分水が表層に広く分布したため、同水深の塩分は34.2～34.4と低めでした(図4)。塩分34.4以下の表層水は、犬吠埼沖及び九十九里沖では海面から水深50m付近にまで及んでいました(図6)。この他に、犬吠埼沖の水深300～500m及び九十九里沖の水深400m前後には、親潮由来の低温低塩分水(7℃以下、34.2PSU以下)が4,5月に引き続き見られました(図5,6)。

海面の流れは、最大2～3ノットで、4～5ノット以上の強い流れは見られませんでした(図2)。

クロロフィル濃度は、九十九里及び太東沿岸の水深10m層で6～9μg/Lと高めでした(図7)。

キンメダイ漁場の水温は、勝浦沖、銚子沖いずれも水深150m以深では前年並でした(図8)。また、海面の流れは、勝浦沖0.1ノット、銚子沖1.5ノットで、いずれも比較的緩やかな流況でした。

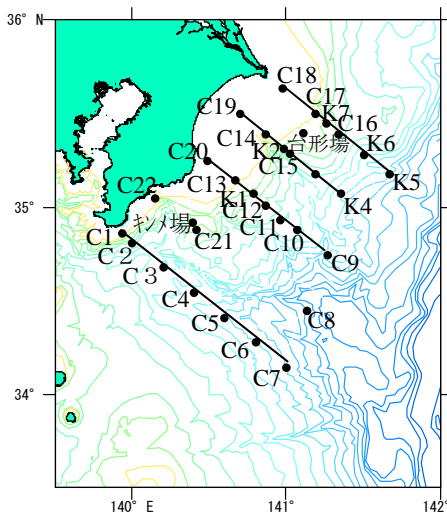


図1 調査点 (c 18,19は欠測)

線は北から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島埼南東線

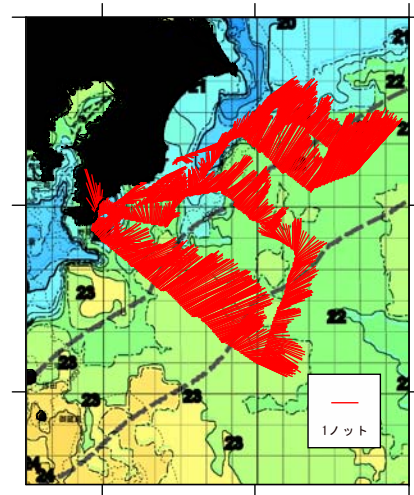


図2 観測時の海況  
(破線は黒潮流路)

表1 海域別平均水温(℃)と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	20.0 平年並	17.7 平年並	16.0 平年並	13.6 平年並
外房	20.2 やや低め	16.8 平年並	16.1 平年並	13.7 平年並

\*水温評価点 (銚子・九十九里海域：C14～20 計7点)  
(外房海域：C1,C3,C11,C13,C21,C22 計6点)

\*沿岸水温評価の目安 (σ：標準偏差)

きわめて高め	2.0 σ～
高め	1.3 σ～2.0 σ
やや高め	0.6 σ～1.3 σ
平年並み	0.0 σ～0.6 σ
平年並み	-0.6 σ～0.0 σ
やや低め	-0.6 σ～-1.3 σ
低め	-1.3 σ～-2.0 σ
きわめて低め	-2.0 σ～

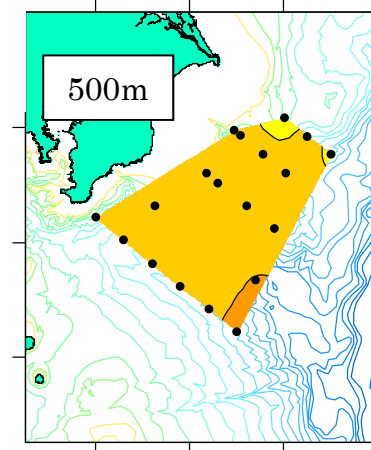
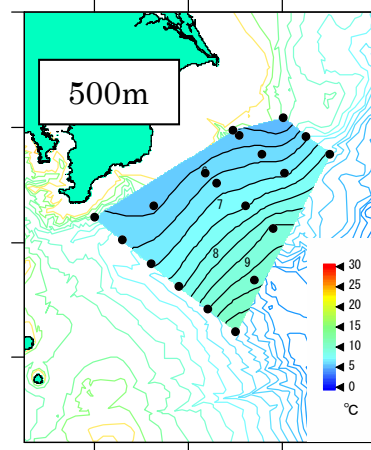
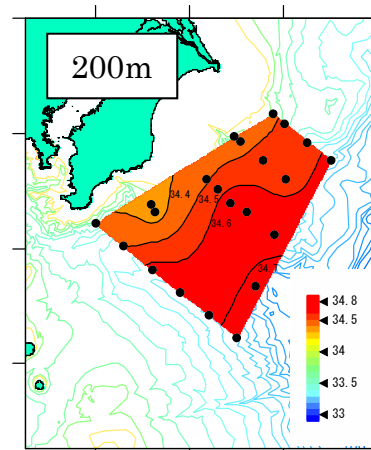
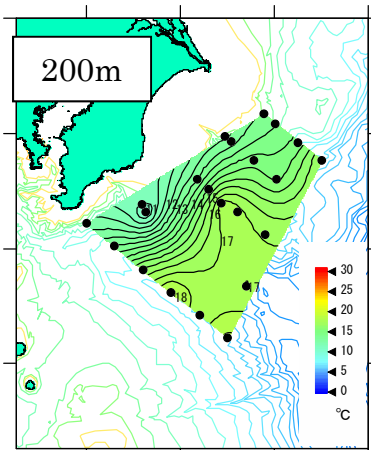
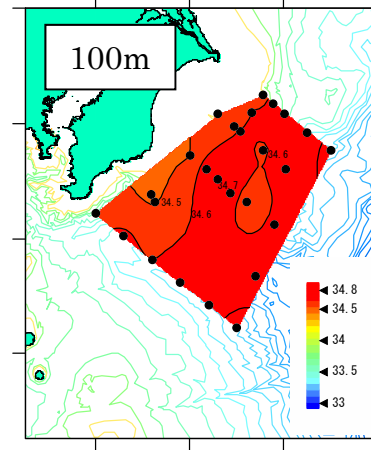
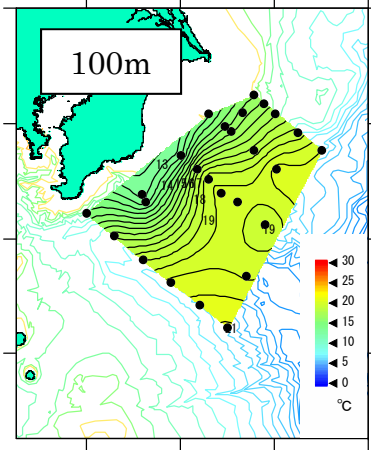
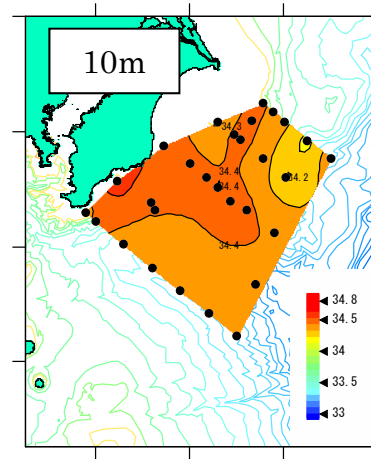
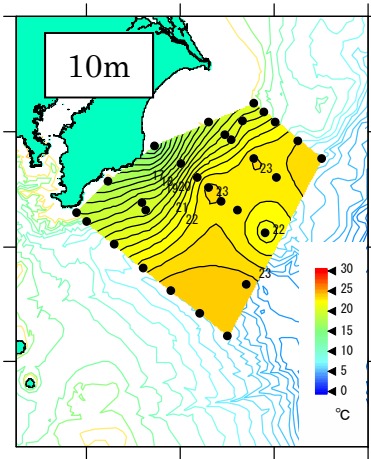


図3 水深別の水温分布

図4 水深別の塩分分布

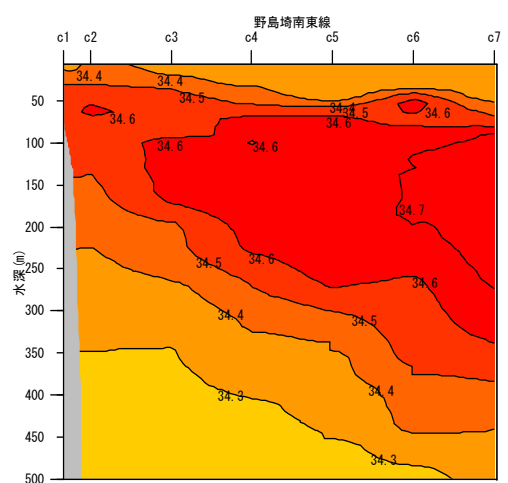
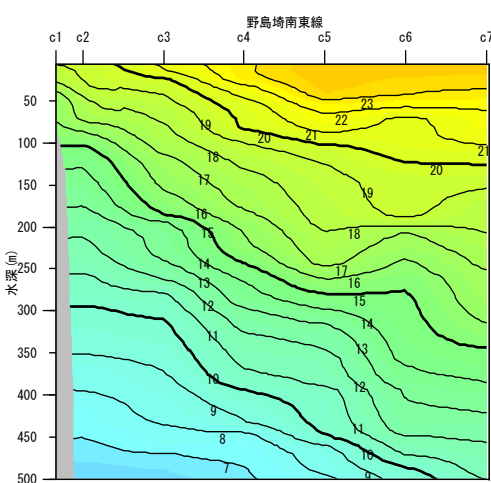
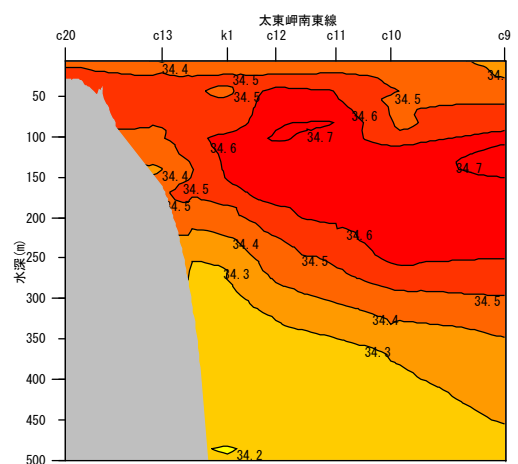
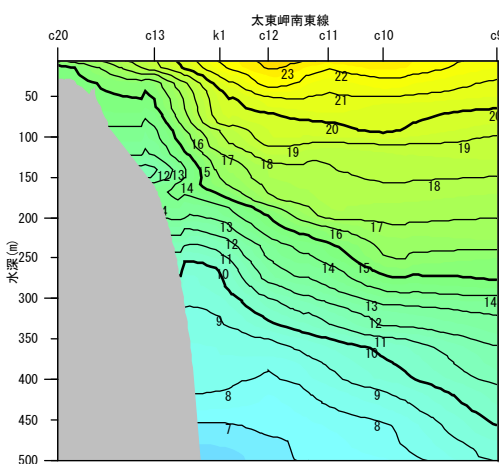
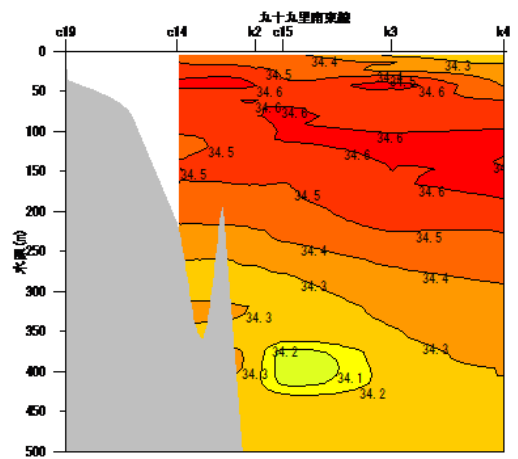
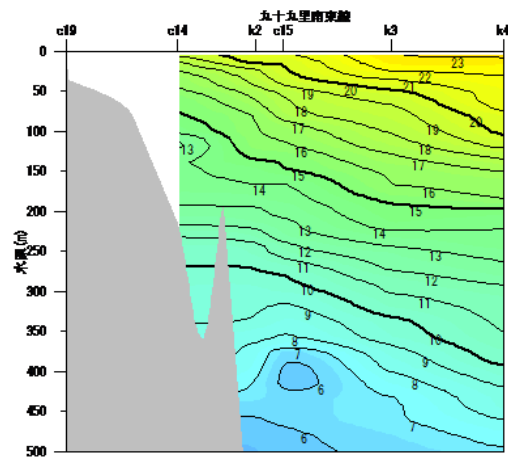
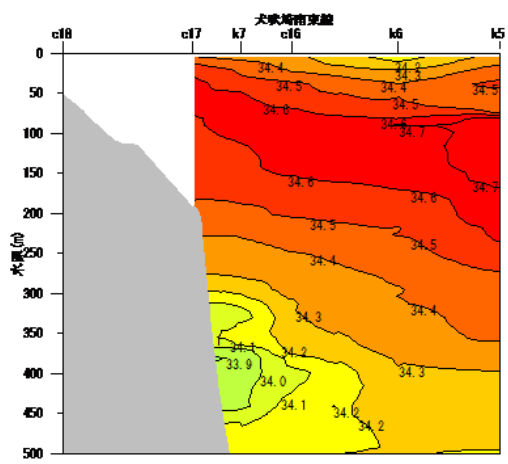
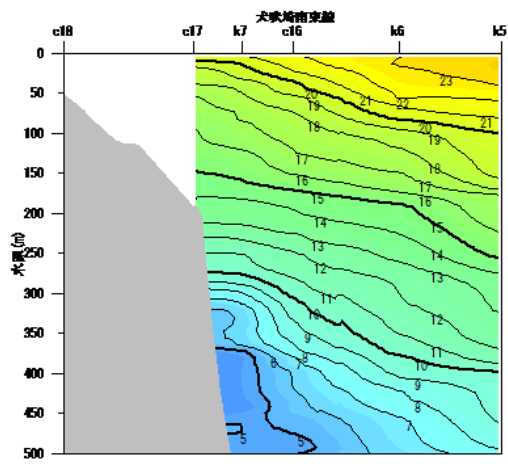
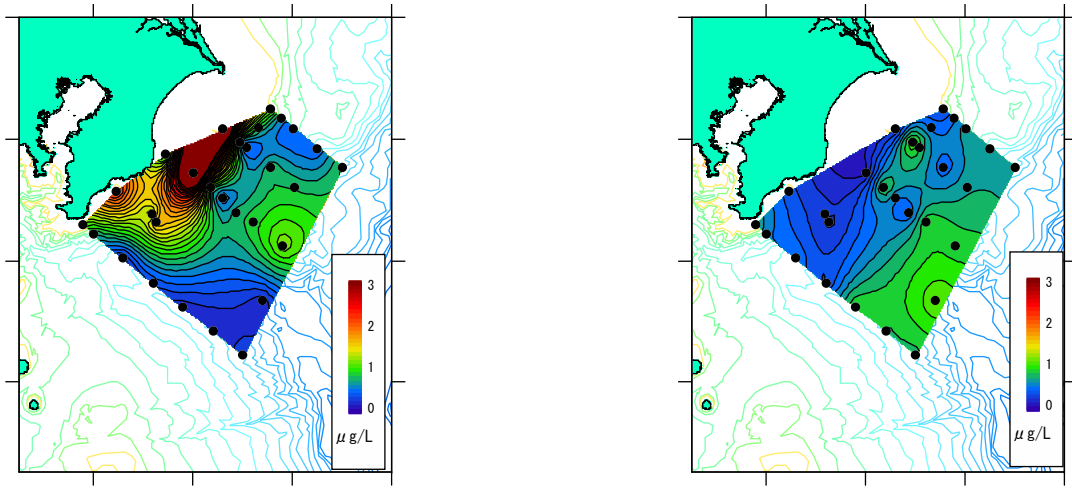


図5 水温鉛直分布

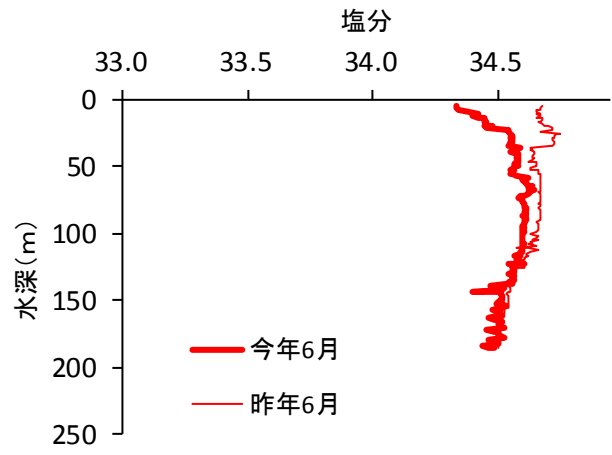
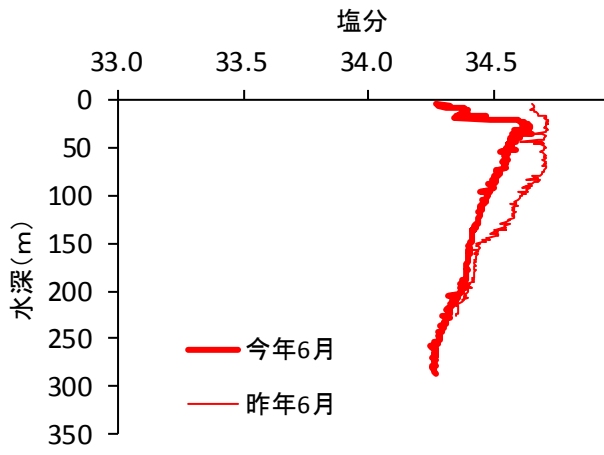
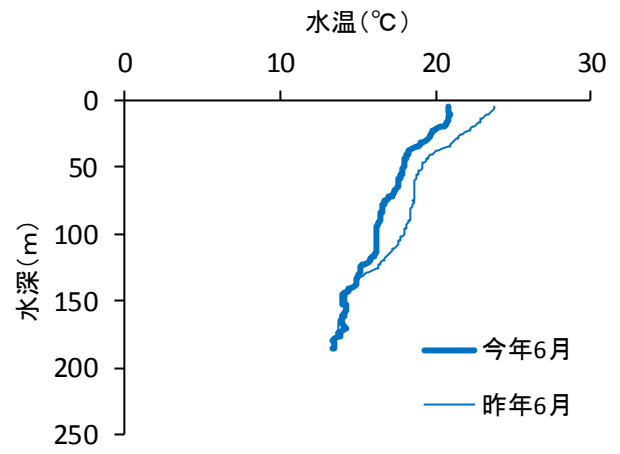
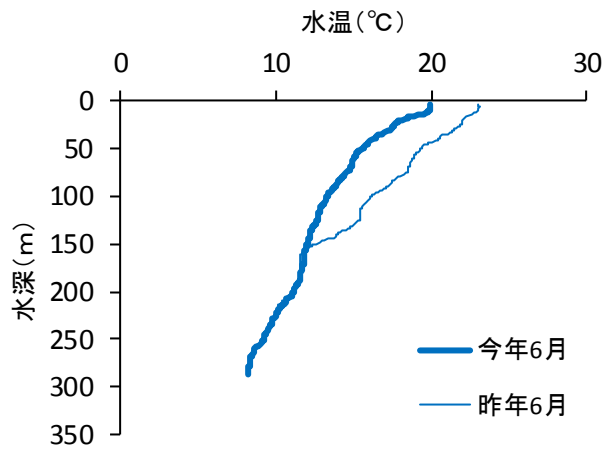
図6 塩分鉛直分布

上から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島埼南東線（図1参照）



10m 50m

図7 水深別のクロロフィル分布 (単位:  $\mu\text{g/L}$ )



勝浦沖キンメ場

銚子沖台形場

図8 キンメダイ漁場の水温, 塩分鉛直分布 (青: 水温, 赤: 塩分)